

オハイオ在留邦人安全対策連絡協議会 参加報告

日時：2005 年 6 月 30 日 15:00~17:00

場所：Embassy Suit Hotel at Dublin

在デトロイト総領事館 三浦首席領事・加藤領事（木村領事の後任）

参加：運営委員長 岩本

議題

1. 緊急連絡網整備・改訂要請
2. 非常事態時（自然災害・テロ等）の安否確認システムについて
スマトラ島沖地震 被災者 24 万人以上 日本人 34 名死亡 6 名不明（6 月 30 日現在）
3000 件以上の安否確認の問合せが、電話で外務省に寄せられた。
現地では電話回線が不通になっていることもあり、電話ではタイムリーに対応不可能。
① 外務省－インターネットの安否確認システムがもう直ぐ出来る
② 北米－フリーダイヤルを設定し、被災者がメッセージを残すような仕組みを検討中
3. 総領事館より安全概況説明
－ 治安情勢
オハイオ州では犯罪率は減少傾向。アメリカ全体では、自動車盗難率が増加。
－ 安全関係
6 月 5 日にコロンバスで発生した日本人学生の事故（1 人死亡、1 人重症）の領事館の対応状況の説明等。
4. その他領事館情報
① Real ID ACT について（内容は、別紙参照）
現時点で、オハイオ州でどの様に州法に展開されるかは決まっていない。
日々新しい情報が入ってくるので、最新の情報は在ワシントン大使館の HP 等で確認して欲しい。
② 旅券（パスポート）について
－ IC 旅券
2005 年 10 月 26 日は、IC 付でないと入国に VISA 必要と決められたが、各国が対応できないことも有り 1 年延期された。在デトロイト総領事館では、2006 年 3 月から対応可能となる。
－ 機械読み取り式でない旅券
2005 年 6 月 26 日から、入国に VISA 必要となった。
③ 日米社会保障協定（詳しくは <http://www.sia.go.jp/seido/kyotei/index.htm> をご覧下さい。）
今年 10 月ごろの実施に向けて準備中。
④ E、L VISA 延長申請について
米国内での申請が出来なくなったこと、日本国内での申請場所が限られていること等問題が多い。
現在、日本国内での申請場所を増やせないかアメリカ政府にクレーム中。